

岡山県感染症週報

2012 年 第 10 週 (3 月 5 日～3 月 11 日)

岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

◆2012 年 第 10 週 (3/5～3/11) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 9 週 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (60 代 女)

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 1,200 名 (定点あたり 14.29 人) の報告があり、第 4 週をピークに減少していますが、依然として患者が多い状態です。

○感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数でした。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、再び増加に転じました。

【第 11 週 速報】

○インフルエンザとみられる臨時休業が、52 施設ありました (3 月 12 日～15 日まで)。

▽岡山市 25 ▽倉敷市 7 ▽備前地域 10 ▽備中地域 2 ▽備北地域 0 ▽真庭地域 2 ▽美作地域 6

○水痘による学年閉鎖が、倉敷市の幼稚園でありました。(3 月 12 日)

1. **インフルエンザ**は、県全体で 1,200 名 (定点あたり 14.29 人) の報告があり、前週 (定点あたり 17.04 人) より減少しました。患者数は 2 月から減少傾向ですが、まだ流行が継続している可能性があることから、引き続き『[インフルエンザ警報](#)』を発令し、注意喚起を図っています。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
全国の第 9 週 (2/27～3/4) 定点あたり報告数は 23.70 人 (前週 29.04 人) であり、第 6 週以降 4 週連続で減少しました。
2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 8.39 → 8.70 人)。詳しくは『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、今週再び増加に転じました (定点あたり 0.74 → 1.33 人)。岡山県では 1 月から増加傾向であり、例年、春から初夏に患者の増加が見られますので、今後の動向に注意してください。
4. **麻疹**は、第 8 週以降発生はありませんでした。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎		★	流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		★★
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		★

【記号の説明】

前週からの推移： 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減
 1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況：空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★★多い ★★★★★★非常に多い

※定点当り患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

インフルエンザ情報 第 10 週 2012 年 3 月 5 日 ～ 3 月 11 日

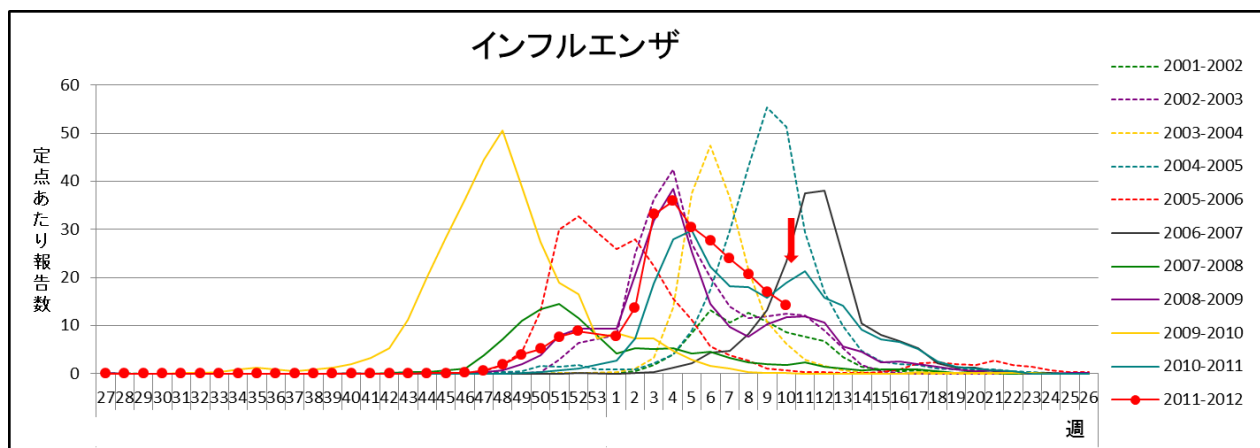
岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 1,200 名（ 定点あたり 14.29 人 ）となり、第 4 週をピークに減少していますが、依然として患者が多い状態です。
- 県全体では感染症発生レベル 3 が継続しています。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 70 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者が、4 名ありました。

【速報】第 11 週 インフルエンザとみられる臨時休業が 52 施設でありました。（ 3 月 12 日～15 日まで）

▽岡山市 25 ▽倉敷市 7 ▽赤磐市 3 ▽津山市 3 ▽備前市 2 ▽吉備中央町 2 ▽奈義町 2 ▽玉野市 1
▽真庭市 1 ▽瀬戸内市 1 ▽里庄町 1 ▽和気町 1 ▽新庄村 1 ▽早島町 1 ▽美咲町 1



は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 1,200 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 14.29 人 ）であり、前週（ 1,431 名 定点あたり 17.04 人 ）より減少しました。第 4 週（35.88 人）をピークとして減少傾向ですが、依然として患者数が多い状態がつづいています。地域別では、倉敷市（ 24.44 人）、真庭地域（ 16.67 人）、備前地域（ 15.93 人）、岡山市（ 12.50 人）、美作地域（ 9.60 人）、備中地域（ 9.58 人）、備北地域（ 5.67 人）の報告があり、美作地域を除く県内全域で減少しました。感染症発生レベルは、県全体ではレベル 3、岡山市・倉敷市・備前地域・真庭地域はレベル 3 が継続しています。患者は減少しているものの、まだ流行が継続している可能性があることから、ひきつづき『[インフルエンザ警報](#)』を発令し、注意喚起を図っています。

患者数が一度減少した後、再び増加するというシーズンもあります。県内では A 型、B 型両方のインフルエンザウイルスが検出されており、型の異なるウイルスに再び感染することもあります。学校の臨時休業は B 型が主流で、ウイルスは B 型ビクトリア系統、B 型山形系統が検出されています。

ひきつづき『手洗い・うがいを徹底する。』『咳エチケットを心がける。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに咳やくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクの用意してください。

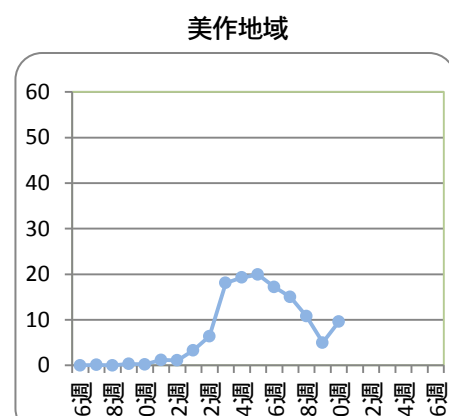
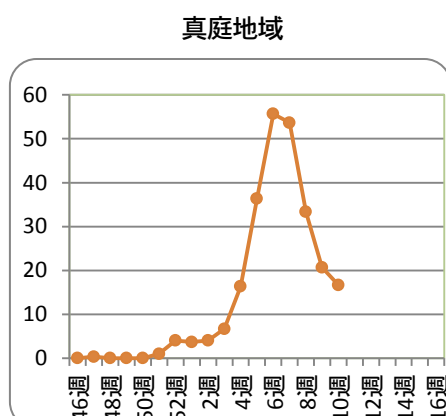
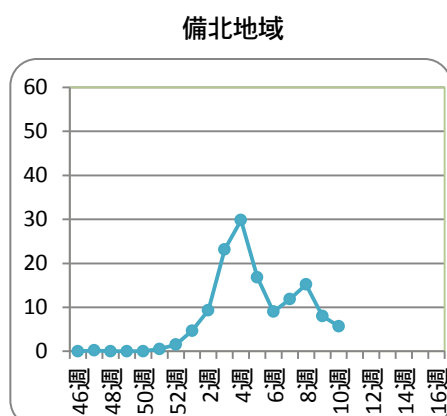
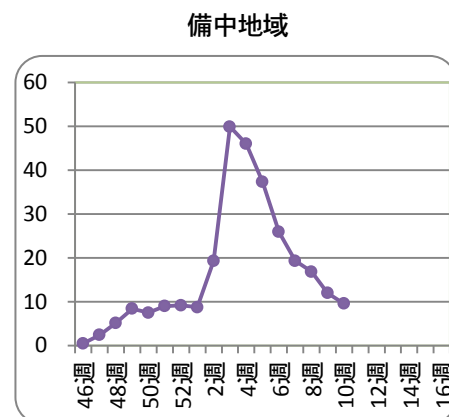
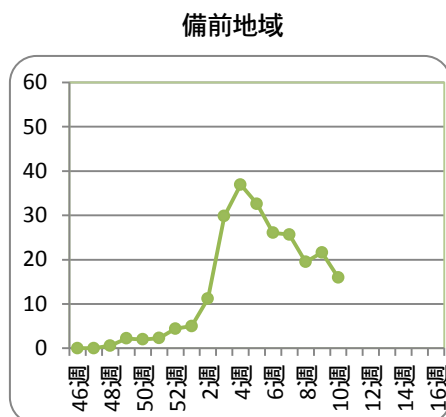
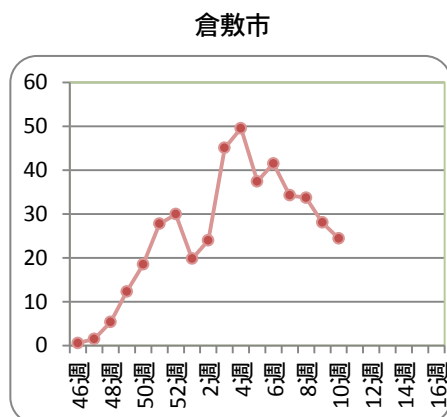
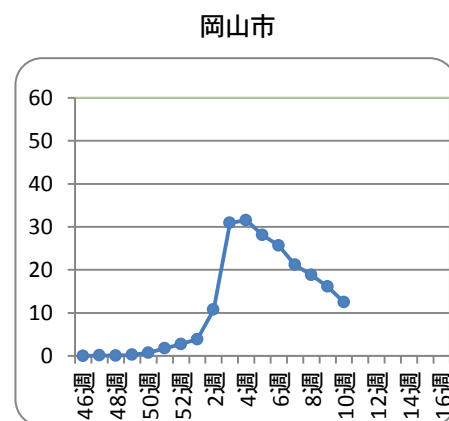
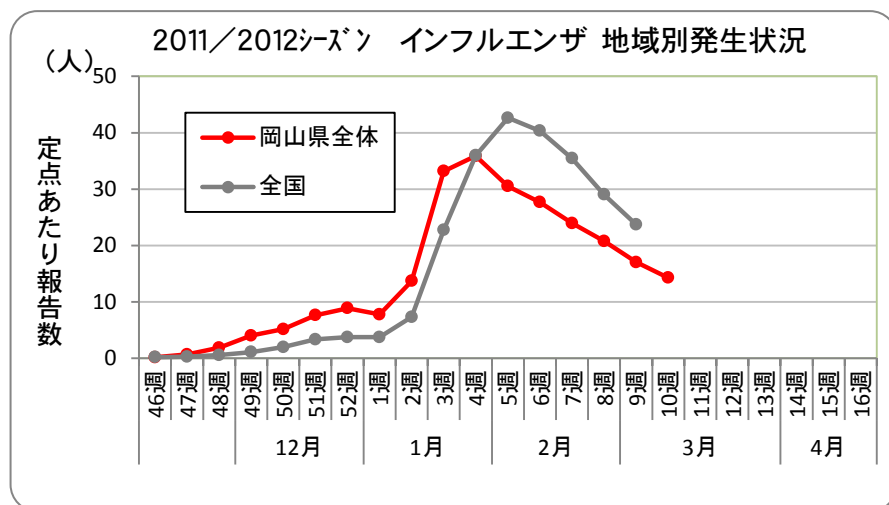
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

1. 地域別発生状況

第10週（3/5～3/11） 前週からの推移（単位：人）

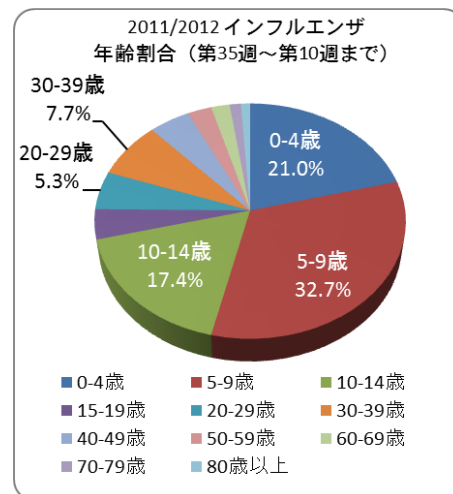
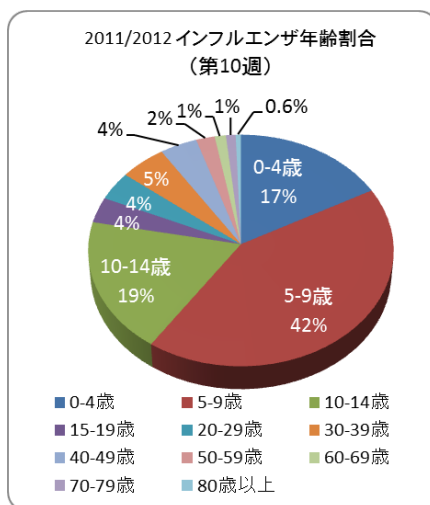
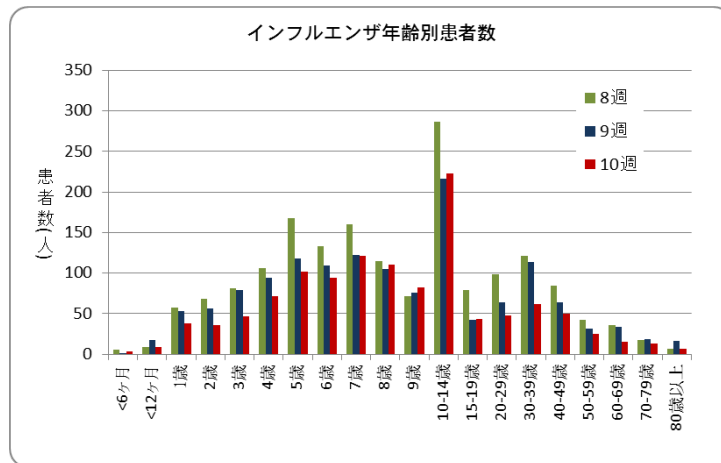
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,200		備 中	患者数	115	
	定点あたり	14.29			定点あたり	9.58	
岡山市	患者数	275		備 北	患者数	34	
	定点あたり	12.50			定点あたり	5.67	
倉敷市	患者数	391		真 庭	患者数	50	
	定点あたり	24.44			定点あたり	16.67	
備 前	患者数	239		美 作	患者数	96	
	定点あたり	15.93			定点あたり	9.60	

【記号の説明】 前週からの推移：
 2倍以上の減少 1.1～2倍未満の減少 1.1未満の増減
 1.1～2倍未満の増加 2倍以上の増加



2. 年齢別患者発生状況 第10週（3/5～3/11）

第10週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の42%で最も多く、10-14歳が19%、0-4歳が17%の順であり、ひきつづき幼稚園児・小学生に該当する年齢層が多くを占めています。



➤ インフルエンザウイルス検出状況 第10週（3/5～3/11）

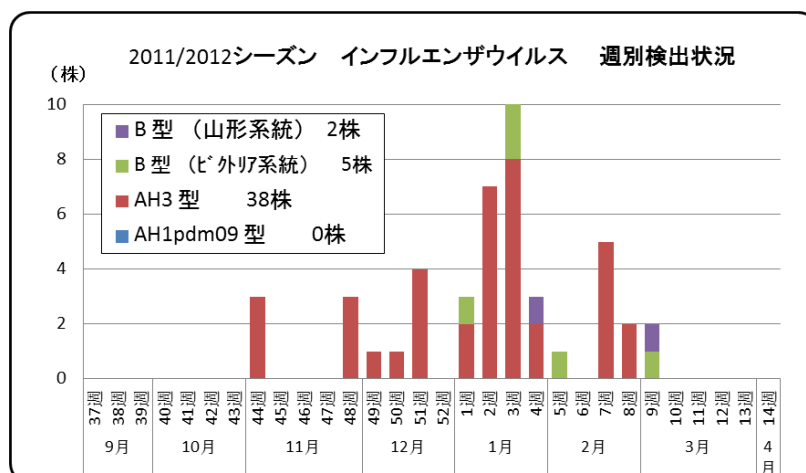
第9週に採取した散発事例から、B型（ビクトリア系統）1株、B型（山形系統）1株が検出されました。

今シーズン県内では、AH3型が38株、B型（ビクトリア系統）が5株、B型（山形系統）が2株検出されています。

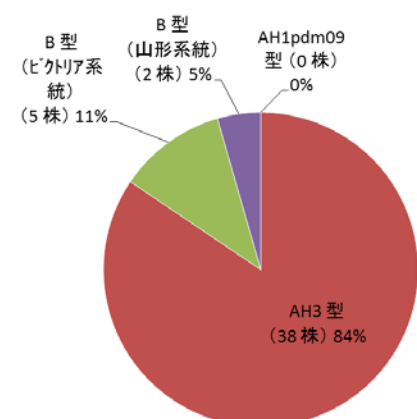
全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く84.6%、B型が15.2%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流ですが、1月以降B型の検出が増加しています。

(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン)

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス B 型	第9週	2012年2月28日	岡山市	中学生	男	山形系統
インフルエンザウイルス B 型	第9週	2012年3月1日	岡山市	小学生	男	ビクトリア系統



2011/2012シーズン 岡山県インフルエンザウイルス 型別検出割合 (n = 45)



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第10週(3/5~3/11)

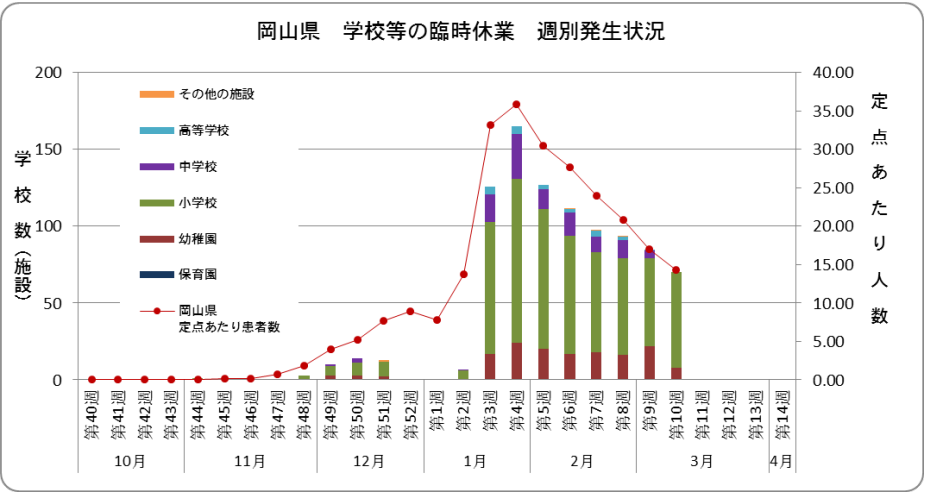
学校等の臨時休業が県内全域の70施設でありました。

措置別：休園・休校 2施設、学年閉鎖 15施設、学級閉鎖 53施設

施設別：保育園0施設、幼稚園 8施設、小学校 62施設、中学校 0施設、高等学校 0施設、その他 0施設
有症者数は1,073名、うち欠席者数778名でした。

第10週までの合計は、有症者数14,509名、うち欠席者数10,586名、施設数はのべ925施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業（健康推進課ホームページ）](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第10週】

(第11週発生の臨時休業数の掲載は、第11週週報で行います。)

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1073	14,509	778	10,586	70	925	2	39	15	257	53	629	H23. 10. 31
岡山市	409	6,258	299	4,333	25	360	0	4	2	62	23	294	H23. 12. 15
倉敷市	375	3,522	257	2,630	21	209	1	7	1	34	19	168	H23. 10. 31
備前地域	98	1,776	73	1,441	8	134	0	5	3	60	5	69	H23. 12. 5
備中地域	39	1,369	37	1,147	4	112	1	10	3	44	0	58	H23. 11. 30
備北地域	0	313	0	227	0	29	0	3	0	12	0	14	H24. 1. 16
真庭地域	25	511	24	320	4	31	0	7	4	20	0	4	H24. 1. 13
美作地域	127	760	88	488	8	50	0	3	2	25	6	22	H24. 1. 16

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第10週(3/5~3/11)

岡山市：幼稚園4、小学校21

倉敷市：幼稚園1、小学校20

備前地域：小学校8

備中地域：幼稚園2、小学校2

備北地域：なし

真庭地域：小学校4

美作地域：幼稚園1、小学校7

第10週：70施設

累計：925施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	8	150	62	642	—	107	—	22	—	4

【第 11 週 学校等の臨時休業 速報（3/12～3/15 まで）】

【措置別】

休校 0 施設：

学年閉鎖 20 施設：岡山市 4、倉敷市 4、玉野市 1、赤磐市 2、和気町 1、吉備中央町 2、早島町 1、真庭市 1、新庄村 1、美咲町 1、奈義町 2

学級閉鎖 32 施設：岡山市 21、倉敷市 3、備前市 2、瀬戸内市 1、赤磐市 1、里庄町 1、津山市 3

【施設別】▽保育園 0 ▽幼稚園 10 ▽小学校 38 ▽中学校 4 ▽高等学校 0 ▽その他 0

【日付・地域別】

3 月 12 日 ▽岡山市：14 ▽倉敷市：2 ▽備前地域：赤磐市 2、備前市 1、瀬戸内市 1、吉備中央町 2（30 施設） ▽備中地域：早島町 1 ▽真庭地域：新庄村 1 ▽美作地域：津山市 3、美咲町 1、奈義町 2

3 月 13 日 ▽岡山市：6 ▽倉敷市：4 ▽備前地域：玉野市 1、赤磐市 1、和気町 1 ▽備中地域：里庄町 1（14 施設）

3 月 14 日（7 施設） ▽岡山市：5 ▽倉敷市：1 ▽真庭地域：1

3 月 15 日（1 施設） ▽備前地域：備前市 1

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第 10 週（3/5～3/11）（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

第 10 週、インフルエンザによる入院患者 4 名（幼児 2 名、10 代 1 名、30 代 1 名）が報告されました。入院患者の多くは、70 歳以上の高齢者（40％）と 5 歳以下の幼児（33％）です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

【第 10 週 入院患者数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	1	1		1			1						4
ICU 入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査（予定含）													
頭部 MRI 検査（予定含）													
脳波検査（予定含）													
いずれにも該当せず	1	1		1			1						4

* 重複あり

【平成 23 年 9 月 5 日以降に入院した各患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	9	19	11	3	1	1	2	1		5	13	21	86
ICU 入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部 CT 検査（予定含）		6	4	1	1						4	2	18
頭部 MRI 検査（予定含）		2									3	1	6
脳波検査（予定含）		5	1								3	1	10
いずれにも該当せず	9	11	7	2		1	2	1		4	7	19	63

重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2012年 10週

2012年3月14日

13:26:12

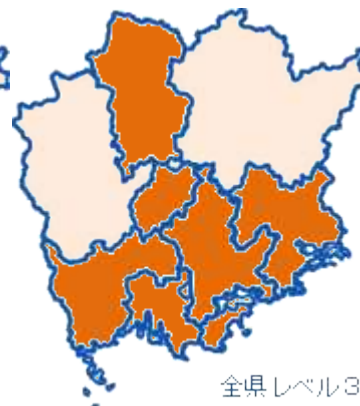


10週 3/5～



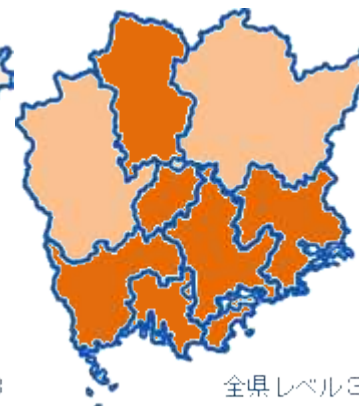
全県レベル3

9週 2/27～



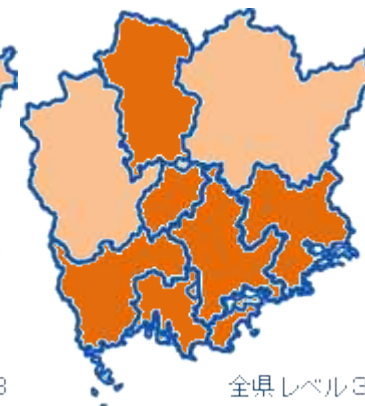
全県レベル3

8週 2/20～



全県レベル3

7週 2/13～



全県レベル3

6週 2/6～



全県レベル3

5週 1/30～



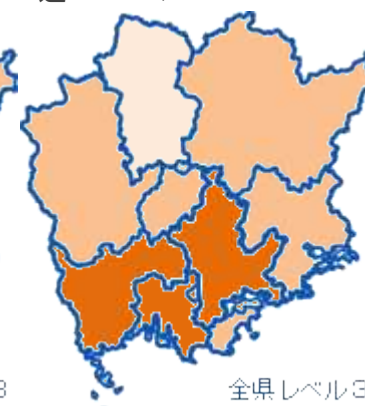
全県レベル3

4週 1/23～



全県レベル3

3週 1/16～



全県レベル3

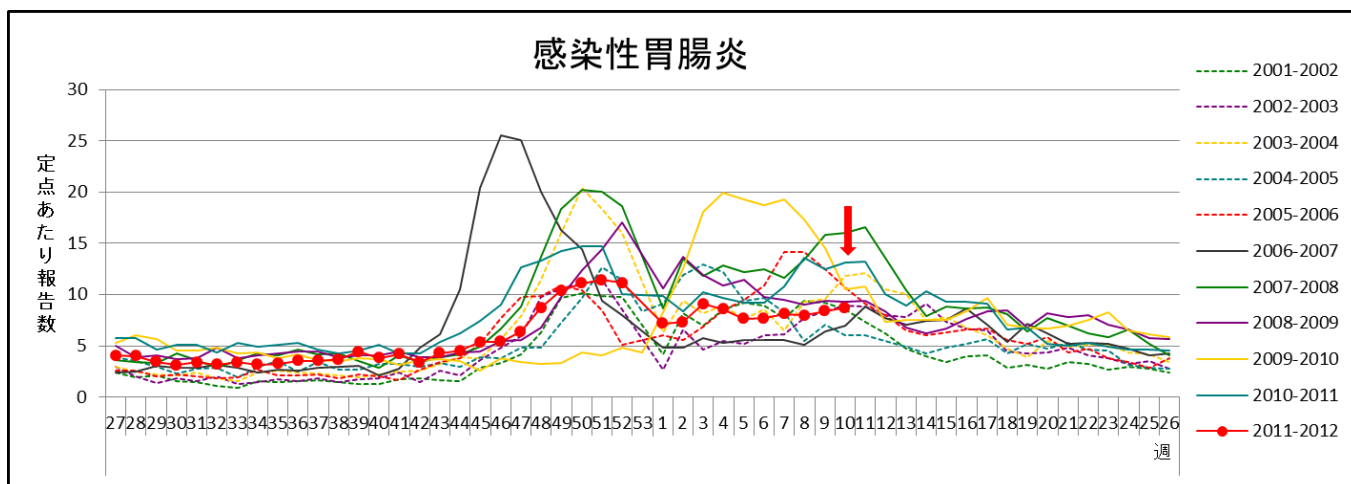
インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎情報 第 10 週 2012 年 3 月 5 日～3 月 11 日

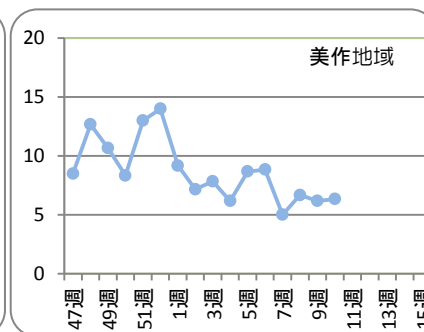
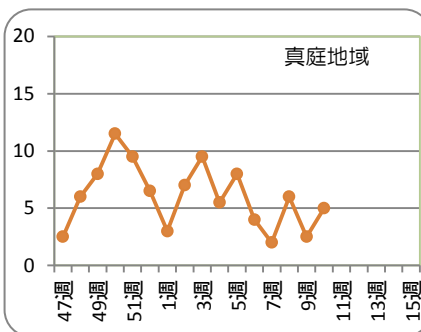
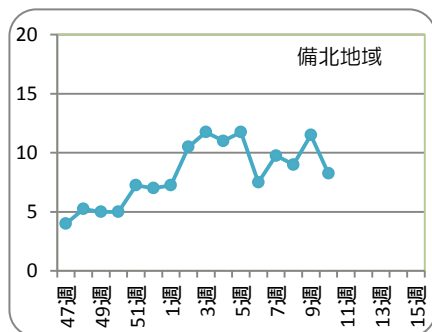
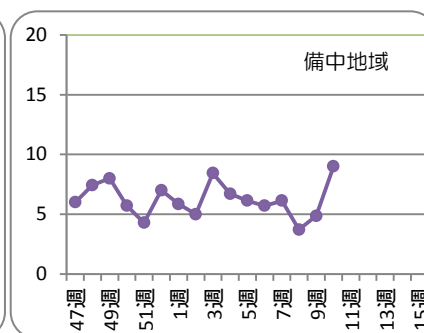
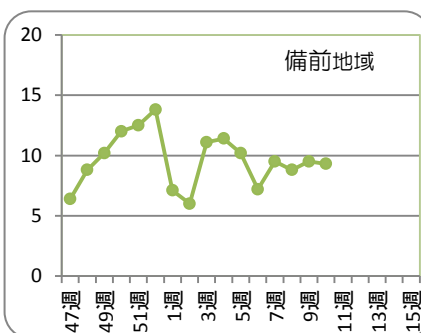
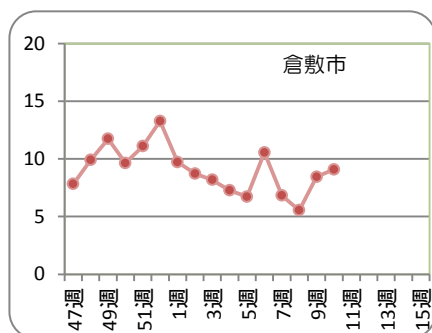
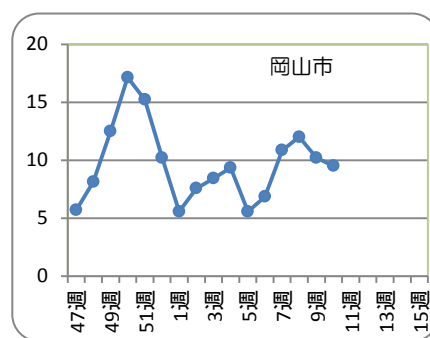
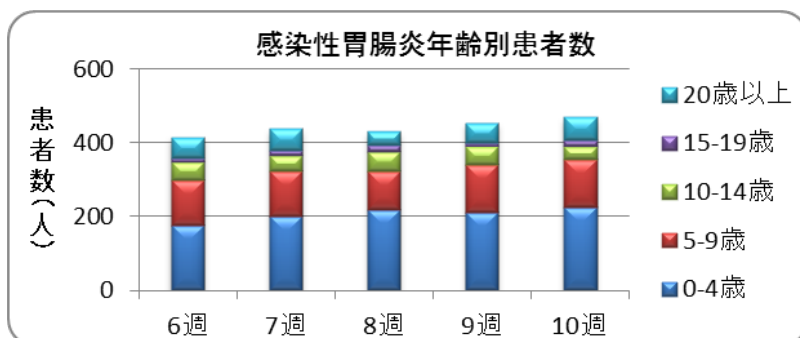
○岡山県内の患者報告数は 470 名（定点あたり 8.70 人）で、前週とほぼ同数でした。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（54 定点医療機関 定点あたり 8.39 → 8.70 人）。備中地域（4.86 → 9.00 人）、真庭地域（2.50 → 5.00 人）で患者が増加しました。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。乳幼児や高齢者は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

例年、これから春にかけて、[ロタウイルスによる感染性胃腸炎](#)が増加します。ロタウイルスは 0～2 歳の乳幼児に患者が多く、ノロウイルスよりも重症度が高いと言われています。手洗いを励行するなど感染予防に努めましょう。



保健所別報告患者数 2012年 10週 (2012/03/05～2012/03/11)

2012年3月14日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1200	14.29	275	12.50	391	24.44	239	15.93	115	9.58	34	5.67	50	16.67	96	9.60
RSウイルス感染症	12	0.22	4	0.29	—	—	1	0.10	1	0.14	1	0.25	—	—	5	0.83
咽頭結膜熱	5	0.09	2	0.14	2	0.18	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	1.33	24	1.71	27	2.45	—	—	7	1.00	—	—	1	0.50	13	2.17
感染性胃腸炎	470	8.70	133	9.50	100	9.09	93	9.30	63	9.00	33	8.25	10	5.00	38	6.33
水痘	53	0.98	18	1.29	22	2.00	4	0.40	5	0.71	1	0.25	—	—	3	0.50
手足口病	11	0.20	2	0.14	8	0.73	—	—	—	—	1	0.25	—	—	—	—
伝染性紅斑	6	0.11	1	0.07	1	0.09	2	0.20	—	—	—	—	—	—	2	0.33
突発性発疹	25	0.46	14	1.00	3	0.27	4	0.40	1	0.14	1	0.25	—	—	2	0.33
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	30	0.56	13	0.93	11	1.00	1	0.10	2	0.29	—	—	1	0.50	2	0.33
急性出血性結膜炎	1	0.08	—	—	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	2	2.00	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	1	0.20	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 10週 (2012/03/05～2012/03/11)

2012年3月14日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1200	14.29	275	12.50	391	24.44	239	15.93	115	9.58	34	5.67	50	16.67	96	9.60
咽頭結膜熱	5	0.09	2	0.14	2	0.18	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	1.33	24	1.71	27	2.45	—	—	7	1.00	—	—	1	0.50	13	2.17
感染性胃腸炎	470	8.70	133	9.50	100	9.09	93	9.30	63	9.00	33	8.25	10	5.00	38	6.33
水痘	53	0.98	18	1.29	22	2.00	4	0.40	5	0.71	1	0.25	—	—	3	0.50
手足口病	11	0.20	2	0.14	8	0.73	—	—	—	—	1	0.25	—	—	—	—
伝染性紅斑	6	0.11	1	0.07	1	0.09	2	0.20	—	—	—	—	—	—	2	0.33
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	30	0.56	13	0.93	11	1.00	1	0.10	2	0.29	—	—	1	0.50	2	0.33
急性出血性結膜炎	1	0.08	—	—	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第10週 2012/03/05～2012/03/11)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1200	3	9	38	36	47	72	102	94	121	110	82	223	43	48	62	50	25	15	13	7

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	12	3	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	-	-	2	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	-	-	1	4	9	10	9	8	7	3	5	15	-	1
感染性胃腸炎	470	3	27	76	48	38	35	38	21	23	29	18	35	16	63
水痘	53	-	4	1	13	13	5	7	6	1	2	-	-	1	-
手足口病	11	-	2	3	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	-	-	-	-	1	-	-	1	2	1	1	-	-	-
突発性発疹	25	1	10	12	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	30	-	-	2	5	3	3	3	7	1	3	1	2	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

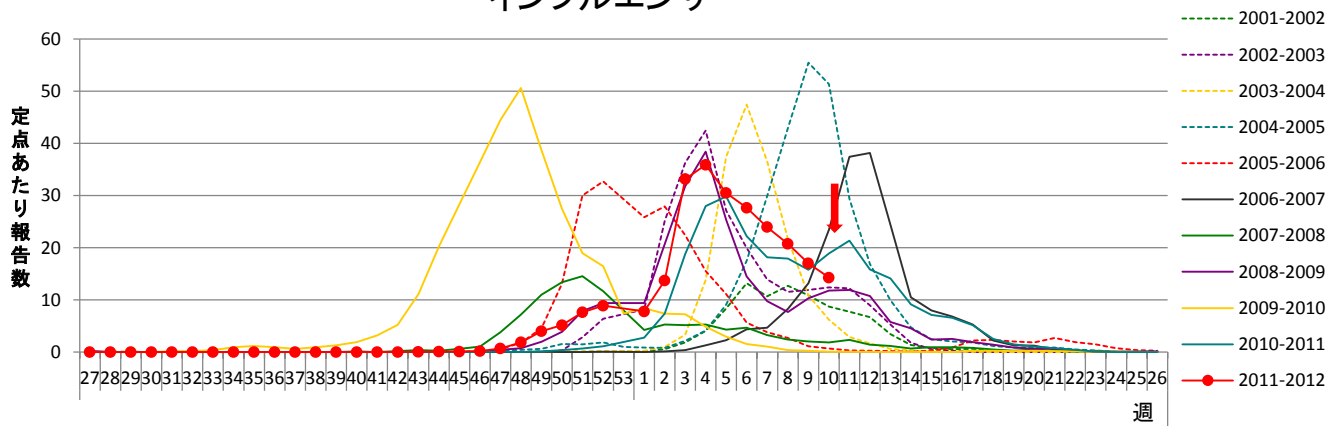
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

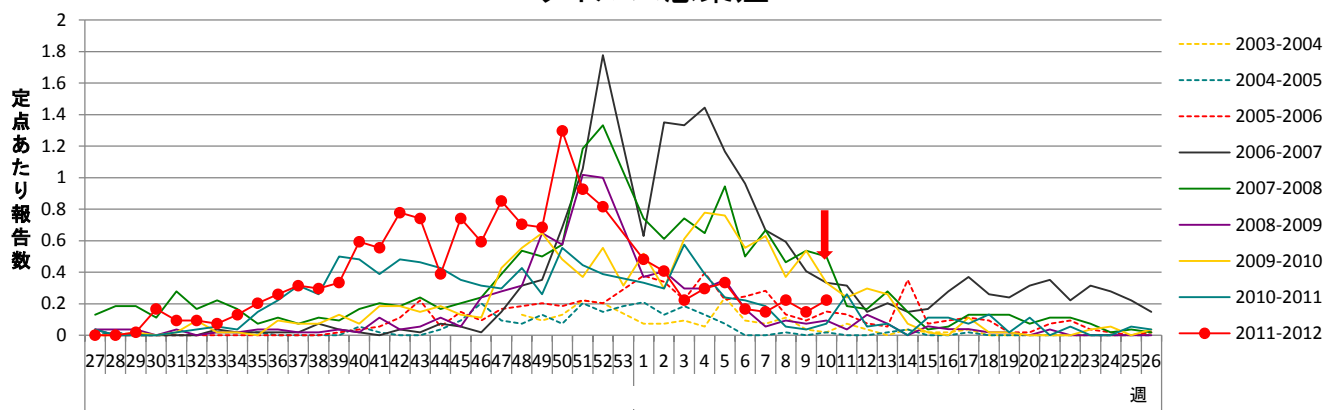
2012 年 10 週

分類	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	41	549	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	3	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	4	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	4	11	ウイルス性肝炎*3	-	1	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	4	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	1	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	4	4		-	-	-		-	-	-

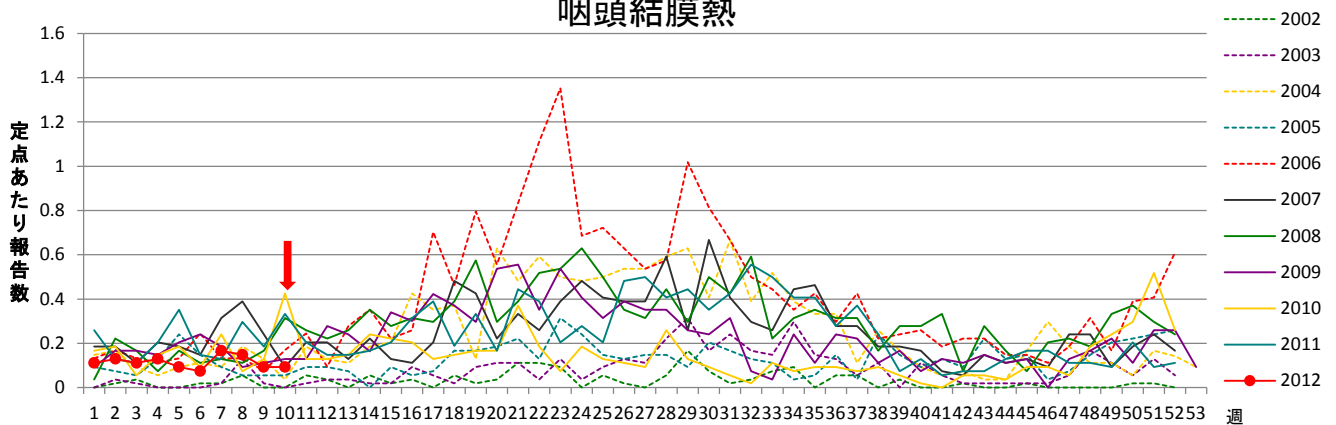
インフルエンザ



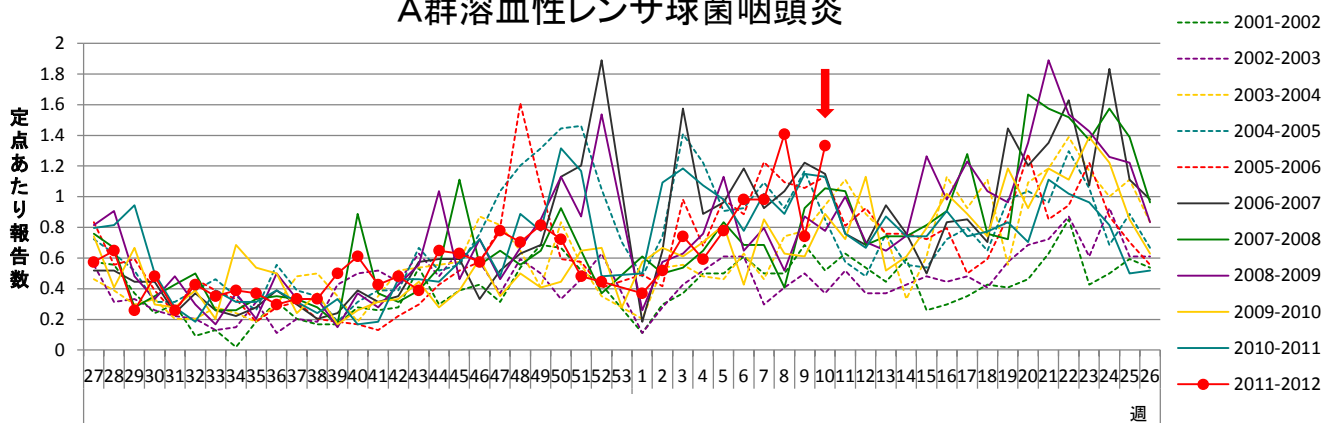
RSウイルス感染症



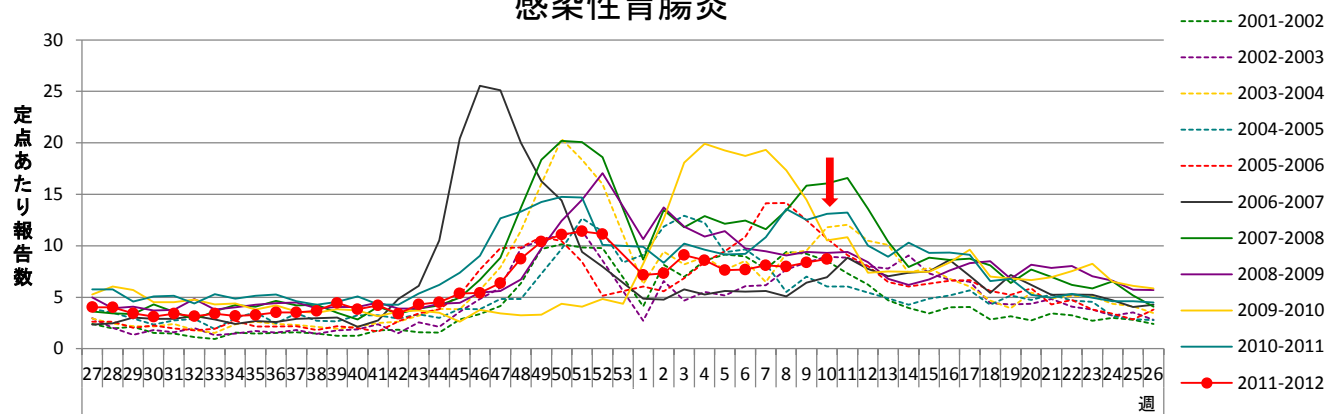
咽頭結膜熱



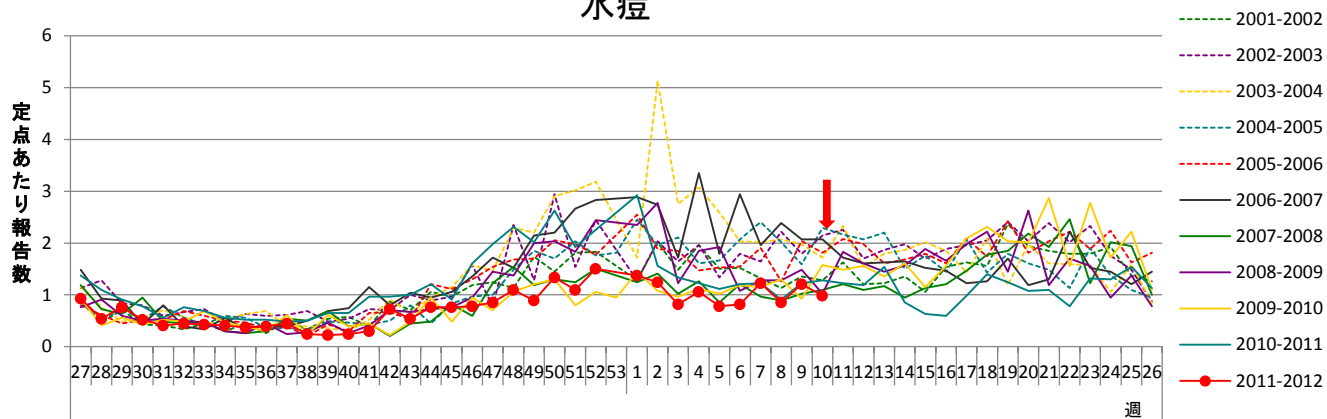
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



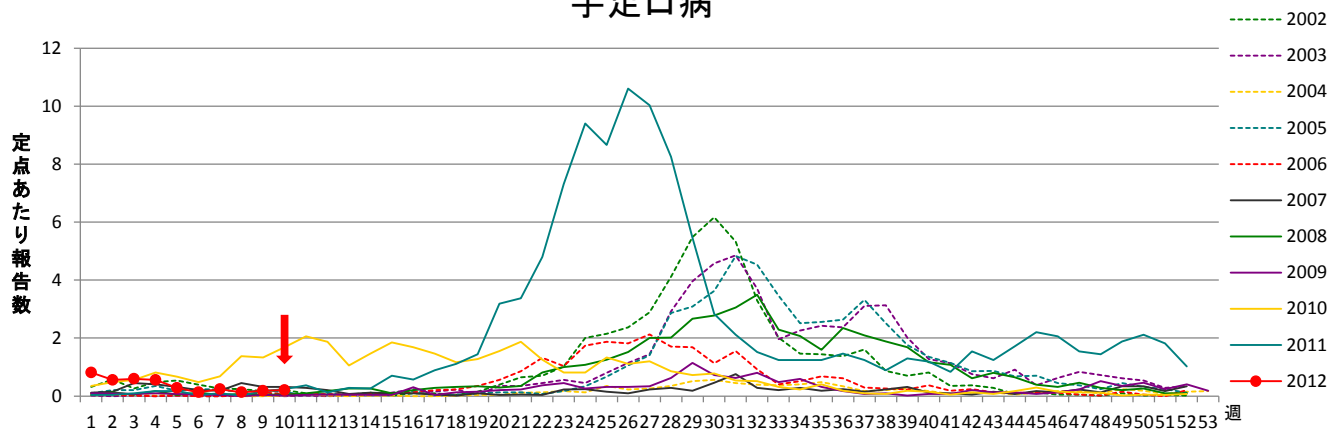
感染性胃腸炎



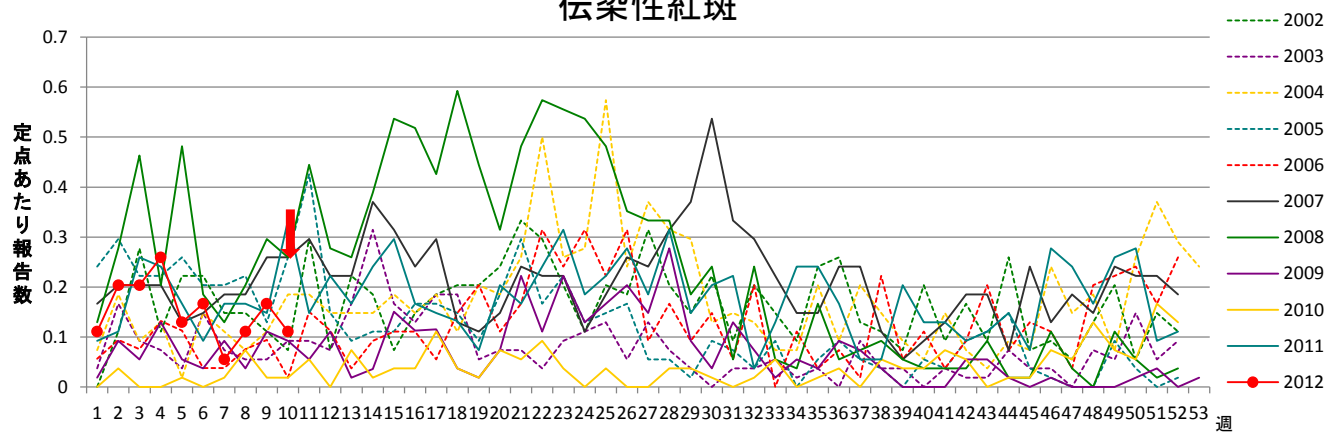
水痘



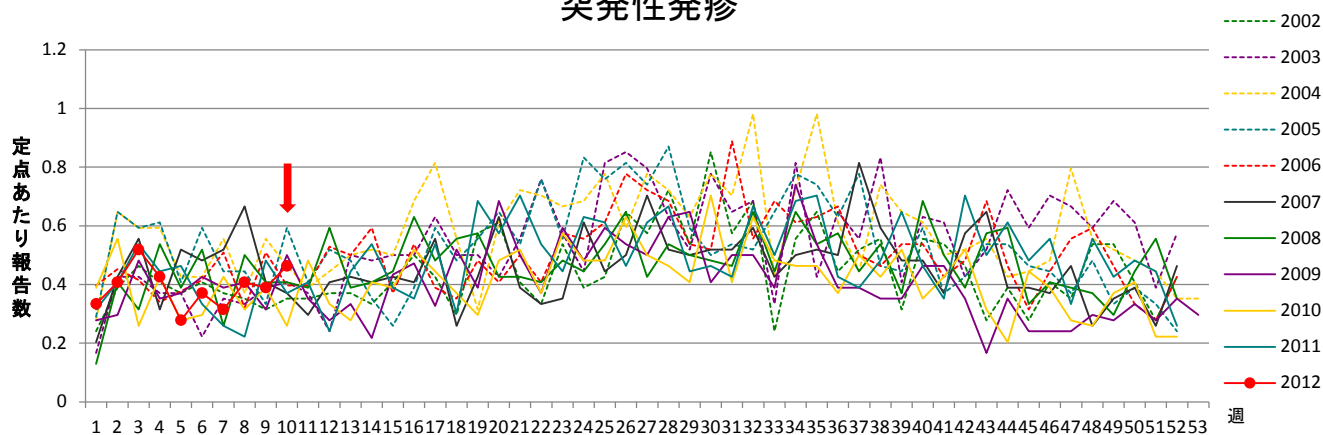
手足口病



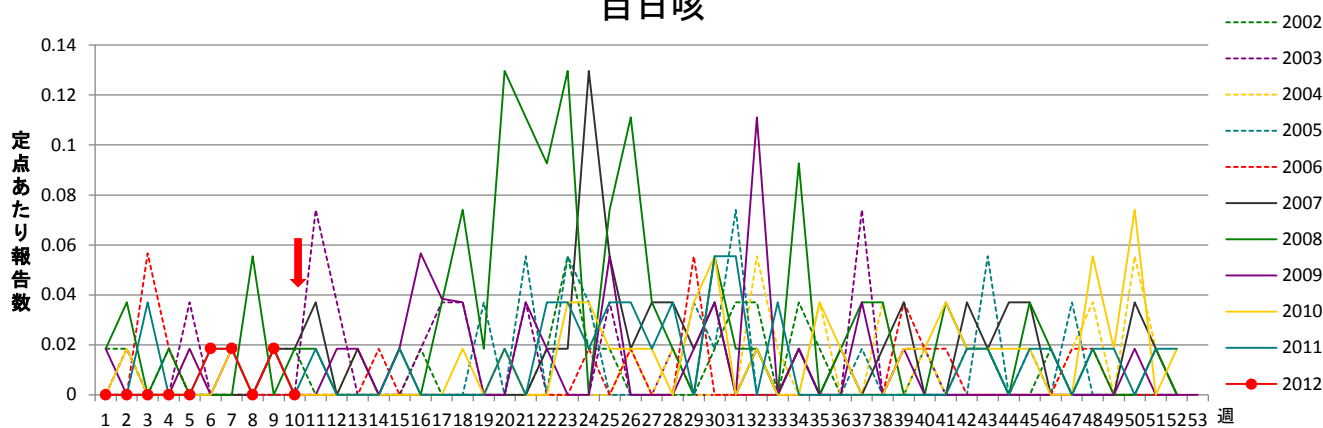
伝染性紅斑



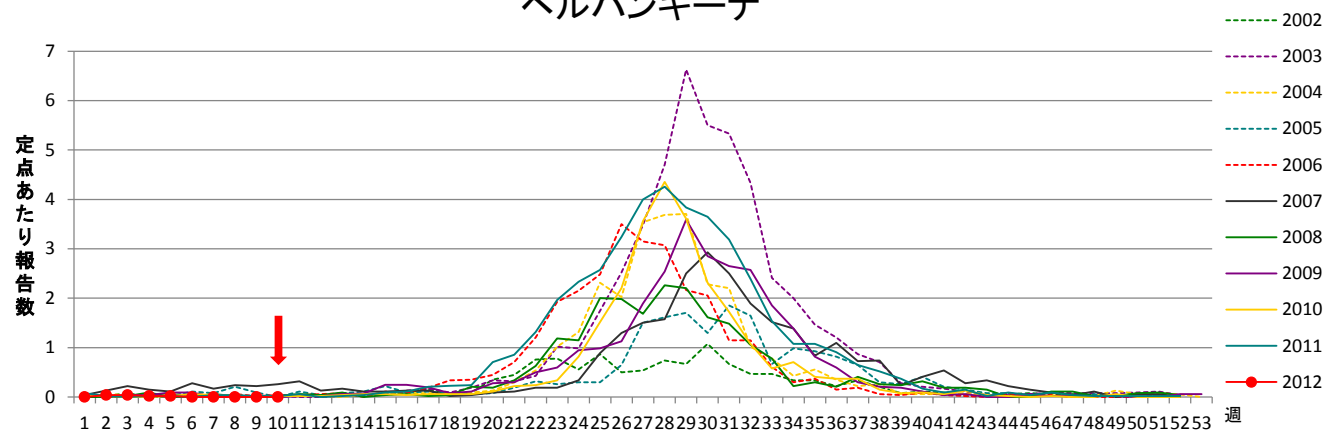
突発性発疹



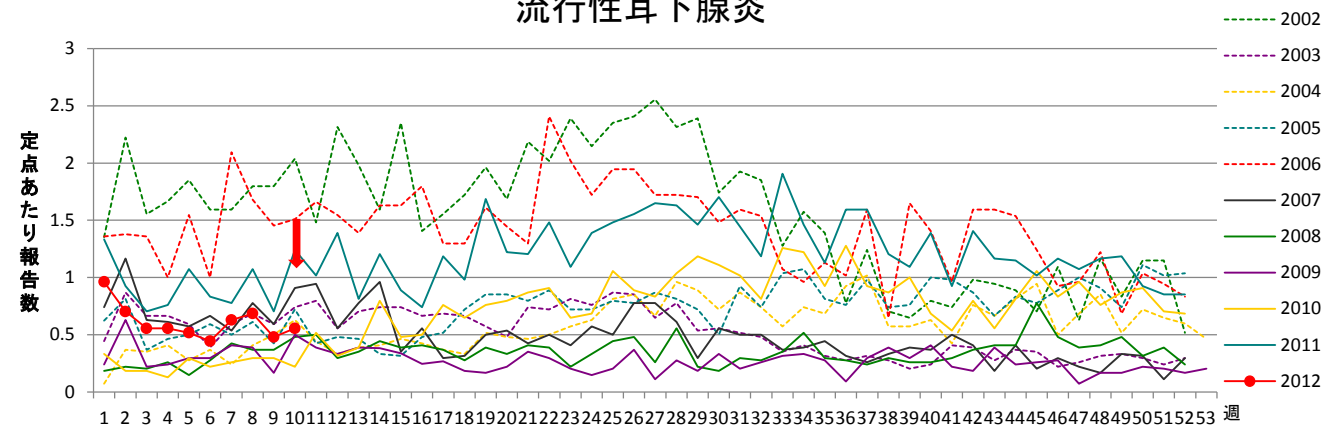
百日咳



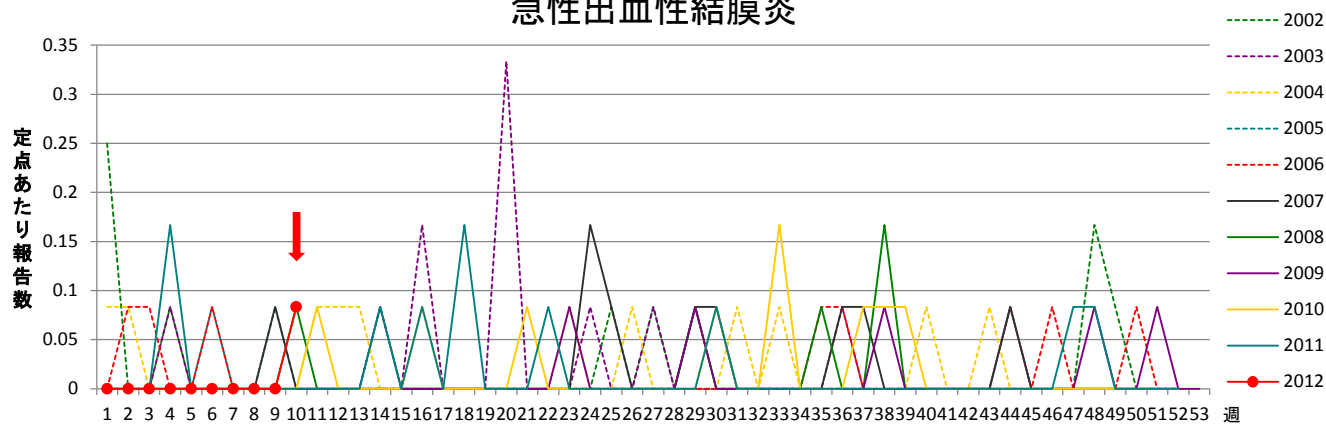
ヘルパンギーナ



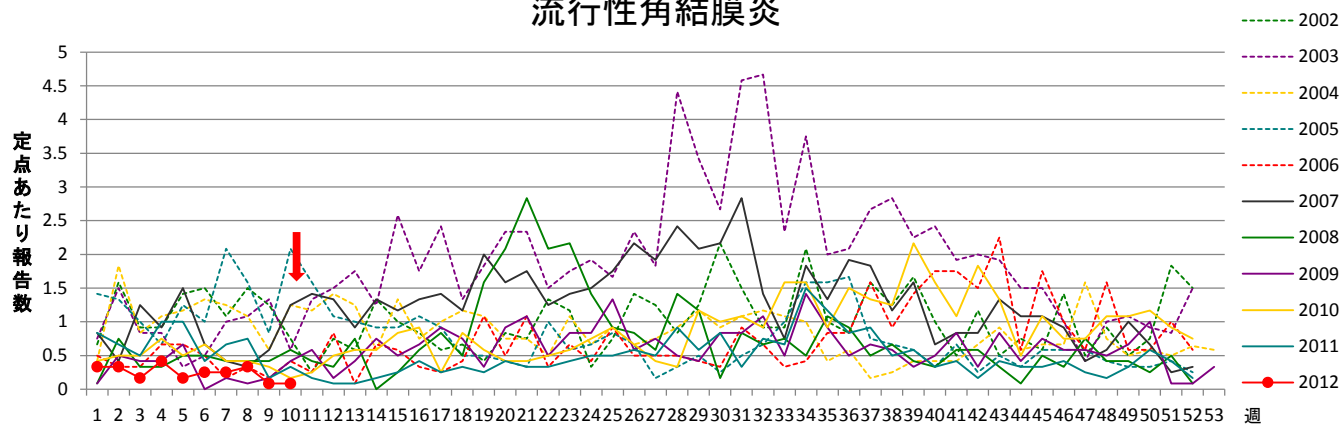
流行性耳下腺炎



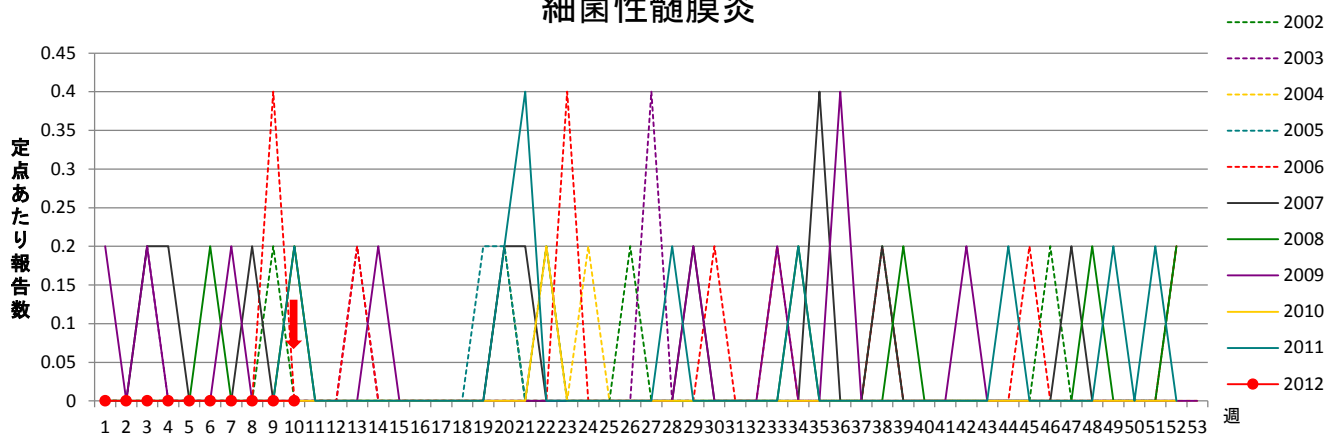
急性出血性結膜炎



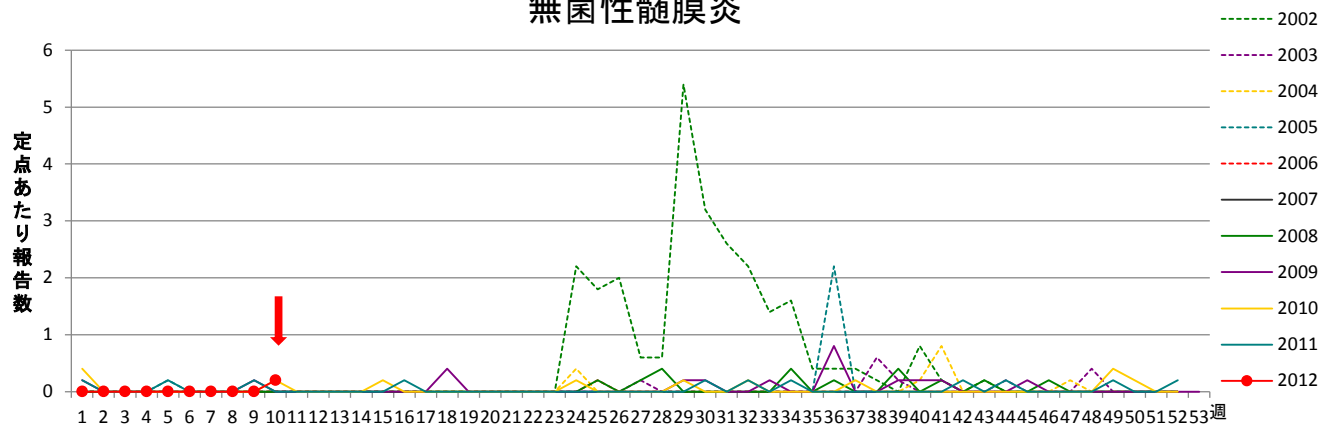
流行性角結膜炎



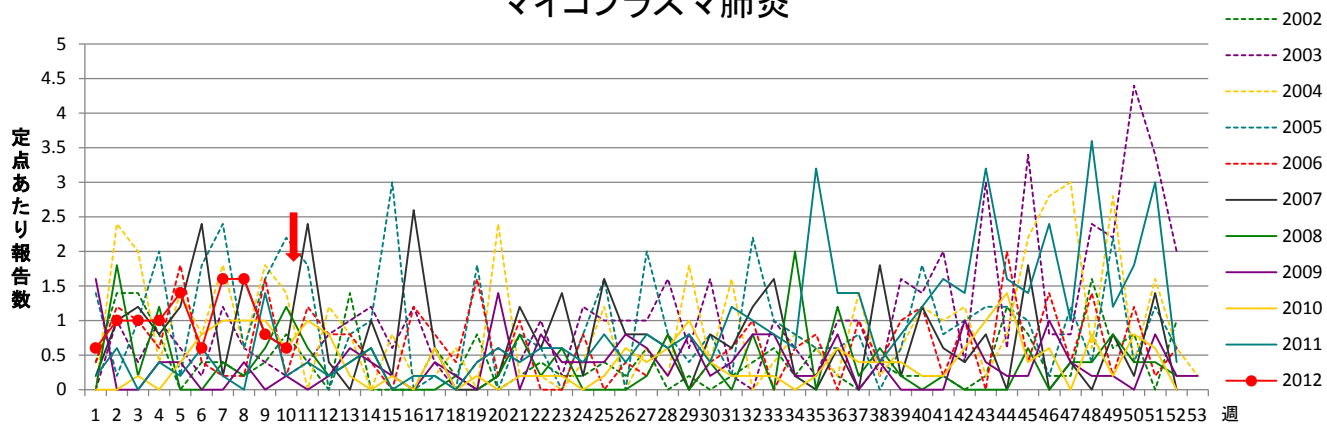
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

